

○提案内容

(1)自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>第1 IoTプラットフォーム及びIoT機器におけるサイバーリスクへの対応</p> <p>1 技術の概要 (1)今後、社会におけるIoTへの依存度が高まる中、サイバー攻撃の脅威は、情報システムから社会システム(IoT機器、重要インフラ、工場の制御システム等)へと拡大しており、2016年には、米国を中心にIoT機器を標的としたマルウェア「Mirai(ミライ)」による大規模DDoS攻撃の発生、ウクライナにおけるマルウェア感染による変電所の遠隔操作に起因した数万世帯の停電(2016年12月)など、サイバーリスクが顕在化しつつある。 (2)そこで弊社は、不正アクセス等による情報漏えいリスクなどに備える従来の「サイバーリスク保険」に加えて、ネットワークの停止に伴う営業損失や機会喪失など社会システムのリスクの可視化・軽減を図りつつ、発生した損害を補償する保険と、リスクヘッジのためのソリューションの提供を通じて、スマートシティの実現を後押しする。</p> <p>2 実績 弊社は、米国シリコンバレー所在のサイバーリスク専門会社と提携し、サイバーリスクを定量化(スコアリング)するソリューションを有するとともに、IoT機器をも対象に組み込み、サイバー攻撃に起因した被害を補償する「サイバーリスク保険」を提供している。</p> <p>第2 MaaSの普及促進に向けた地域包括型保険</p> <p>1 技術の概要 (1)今後、電車、バス、タクシー、レンタカー、カーシェア、シティバイクに至るまで、個別の移動ニーズに対応したモード横断的な移動サービス(MaaS)の展開が見込まれている。 (2)一方、このような統合された交通サービスの過程で何らかの事故が発生したとき、その原因事実の特定(技術の不適合、人為的過失など)や損害賠償責任の境界確定に時間を要することが想定され、当事者間の円滑な解決・補償の遅れがMaaS全体の取組を阻害しかねない。 (3)そこで弊社は、MaaSを導入した地域全体を補償対象エリアとし、モードに関わらず発生した損害を総合的かつ包括的に補償する新たな保険商品の開発・提供を通じて、地域におけるMaaSの取組を促進する。</p> <p>2 実績 (1)弊社は、自治体における住民等第三者に発生した法律上の賠償責任保険、自動車・鉄道・自転車などのモード毎の保険に加え、事業活動を取り巻く様々なリスクを包括的に補償する「超ビジネス保険」、個人の生活を取り巻くリスクを網羅した生損一体型の「超保険」など幅広く提供している。 (2)また、自動走行システムの進展を見据えて、複雑な賠償責任関係に対応して被害者救済費用をお支払いする保険を他社に先駆けて提供している。</p> <p>第3 ケガやトラブル対応、見守りサービスなどの地域包括サポートの提供</p> <p>1 技術の概要 (1)スマートシティの進展により、誰もが移動しやすい社会が到来し、大人、子ども、高齢者、健常者、障がい者などあらゆる者の移動・交流が促進されることに伴い、事故によるケガやトラブルの発生が想定される一方で、見守りサービスなどの安全・安心への取組も期待されている。 (2)そこで弊社は、地域全体を補償対象エリアとし、ケガやトラブルを総合的かつ包括的に補償(かけつけ型の解決サポート、争訟費用等を含む)するとともに、子ども、高齢者、障がい者などの特性に応じて、見守りや捜索支援サービス、見舞金・給付金等を含む総合的な支援サービスを提供し、地域における移動・交流やその活性化を促進する。</p> <p>2 実績 (1)認知症患者が引き起こした事故に対する損害賠償責任保険(市民対象) 弊社は、認知症患者(市民)が引き起こした事故について、被害者への給付金や賠償責任保険金を支給する保険商品を保有している。 (2)「認知症あんしんプラン」の提供(平成30年10月～) 弊社は、(公社)認知症の人と家族の会と、高齢者の見守り支援に実績のある(一社)セーフティネットリンケージとの連携のもと、認知症の方及びそのご家族のための専用保険を提供している。 (3)その他(自治体、企業、個人向けの保険) 「第2の2実績(1)」に同じ。</p> <p>第4 データヘルスの促進</p> <p>1 技術の概要 (1)相模原市の「さがみはら健幸ポイント制度」をはじめとして、各自治体において、住民の健康づくりの活動にインセンティブを付与し、地域の活性化や医療費・介護保険料の削減等を図る取組が進められている。 (2)このような取組を更に推めるためには、ウォーキングなどの活動内容と健診結果などの健康状態を示すデータとの関係性を明らかにするなど、健康づくりに資する具体的な活動内容やその効果の見える化を図ることが有効である。 (3)そこで弊社は、グループ会社との連携を通じて、「歩数・食事・睡眠」データ、「健康診断」、「レセプト」データなどビッグデータを解析・活用を通じて、具体的な健康増進活動とその効果の実証を通じた提案を行い、各自治体における住民の健康づくりの取組の更なる推進を行う。</p> <p>2 実績 (1)「データヘルス支援サービス」の提供(平成27年10月～) 弊社は、グループ会社の東京海上日動リスクコンサルティング(株)を通じ、企業及び健康保険組合向けに、健康診断やレセプトなどの健康医療情報を分析し、従業員の健康状態に即した効果的・効率的な保健事業の計画策定・実行を支援する「データヘルス支援サービス」を提供している。 (2)「あるく保険」の提供(平成29年4月～) グループ会社の東京海上日動あんしん生命保険(株)は、歩数に応じて保険料のキャッシュバックを行う「あるく保険」を提供し、また、保険ウェアラブル端末を貸与し、スマートフォンへの専用アプリを提供することにより、お客様の健康増進の取組をトータルでサポートしている。</p>	<p>第1((4)データプラットフォーム/(2)分析・予測技術)、第2～第4((5)データの活用)</p>

(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>第1 IoTプラットフォーム及びIoT機器におけるサイバーリスクへの対応 IoTプラットフォームやIoT機器の利用における社会システム全体のリスクを把握し、これに対応した新たな保険の開発・提供を通じて、スマートシティの取組を促進する。</p> <p>第2 MaaSの普及促進に向けた地域包括型保険 MaaS導入地域全体を対象として、モード横断的な交通サービスの提供に際して発生した各種損害を総合的かつ包括的に補償する保険の開発・提供を通じて、地域におけるMaaSの導入を促進し、以て人の移動の円滑化や交流人口の拡大による地域の活性化を図る。</p> <p>第3 ケガやトラブル対応、見守りサービスなどの地域包括サポートの提供 地域全体を補償対象エリアとし、ケガやトラブルを総合的かつ包括的に補償(かけつけ型の解決サポート、争訟費用等を含む)するとともに、子ども、高齢者、障がい者などの特性に応じて、見守りや捜索支援サービス、見舞金・給付金等を含む総合的な支援サービスを提供することにより、地域における移動・交流やその活性化を促進する。</p> <p>第4 データヘルスの促進 「歩数・食事・睡眠」、「健康診断」、「レシピ」などのビッグデータの解析・活用により健康増進活動とその効果を明確化することで、各自治体における健康づくりの活動を促進し、地域の活性化や医療費・介護保険料の削減等を図る。</p>	<p>第1(ケ)セキュリティ、第2(ア)交通・モビリティ、第3(サ)コンパクトなまちづくり、第4(カ)健康・医療</p>
(3)その他	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
企業商品業務部R&Dチーム	教学 大介(第1) 瓦谷 俊樹(第2~第4)	03-5223-1430	daisuke.kiyougaku@tmnf.jp toshiki.kawaratani@tmnf.jp